

# 緊急事務局通達

7/23

文部省筑波斗争委員会事務局  
ストリートの高揚のために！

## すべての斗争学友は鉄の如き峻厳さ をもってピケットを固めよ！

22日斗争委員会において、9月2日に至る夏期斗争中のピケットの要領を以下のように定めた。文部省の教官・職員はピケットを突破せんとし、様々な策動を続けている。特に事務職員の中には、我々自身が鉄桶の如くうちいている本館の中へ侵入せんとする者すらいるのである。我々の斗争が夏休みを迎えたということによって、官廳の跳躍の可能性もまわっている。すべての学友は東力をもって巨體・本館封鎖を死守せよ！そして斗争破壊者の全ての策動と挑発を断乎としてはねのけよ！官廳、大学当局の策動粉碎！

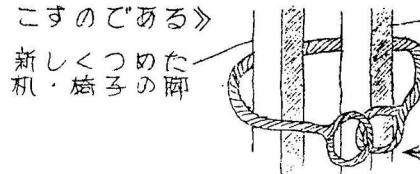
●9月2日に至る夏期斗争中も、巨體・本館封鎖を死守するため、アーケード下入口に昼夜ピケットをはる。

●その時間は朝9時より夕方7時までである。

●その間は、巨體の出入口はピケテイング所とせねばならない。即ち、出入が予想される窓はすべて固く閉鎖する。（ハリガネ・角材で）

●夕方7時より、翌朝9時に至る期間は、我々の出入を保障するため、自室会室前の窓を開ける。

●当日最終の（3:30～5:00）ピケ隊は午後7時を期して、アーケード下入口の前にバリゲードを構築する。（ハリガネ＝歴史演習室E119にあり）をもって補強すること）として自治会室前の窓のハリガネをはずし、出入が出来るだけの保障をする。又アーケード下入口の内側にも机・椅子をつめて、施錠をする（始めから内側につみ上げてあるバリゲードと新しくつめた机・椅子とをハリガネの輪をもってつなぎ、とのつなぎ目に鍵をほどこすのである）



\*鍵の番号は である！

← この輪を重ねて鍵をかける

●当日最初の（9:00～10:00）ピケ隊は、前述した鍵をはずして、つめこんだあった机・椅子を出し、又外側のバリゲードを撤去してピケを開始する。同時に、自治会室前の窓を閉ざし、把手と角材との面をハリガネで固定する（外からあけられない程度にすること）。又出入の前に置いてあつた机・椅子をことごとく撤去する。

●ピケットの時間割りとローテーションについて。

9:00	～	10:00
10:00	～	11:00
11:00	～	12:30
12:30	～	2:00
2:00	～	3:30
3:30	～	5:00

①班 哲学系 ②班 偏史系 ③班 法政  
④班 東史 ⑤班 西史 ⑥ 社会学 ⑦ 日史  
以上7班のうち、前夜、バトロールをした班は割り当てはない。したがって残り6班が左記の時間割によりローテーションを組む。24日は③班から始まり、①班で終る。25日は④班より……以下同じ。

以上遵守して、できるかぎりの学友の参加のときにピケを行うが、注意を若干。(1) 入館を求めるすべての人間に身分証明書及びそれに準ずるもの提示を求め、その身分を確認する。(2) 絶対に入れてはならない人は文教官・文書ム職員・身分証明書を提示しない人物である。又他学部教官の主導する集中講義（E119）に参加せんとする文部省学生は入れてはならない。又農理体三学部の教官・事務職員・学生・院生は原則的に入れない。(E-G館内に講義しようとする三学部の教官は絶対に入れてはならない。又三学部の事務職員は学生の監視の下で、教育事務室にのみ出入させる。三学部の学生についても、きびしく用向き、行き場所、所用時間を向いただし、入れないか、監視をつけるか、入れるかを適宜判断する。) 外来者についてはきびしくその身分をただした後で、緊急とみとめたものに限つて、必ず監視をつけて入れる。（安全教育関係、教育相談関係、報道関係）緊急の面会、個人の納品など

以上、二点が基本原則である。現状において特に警戒せねばならないこと→文部省職員が「当直」と称して入ろうとしている、又本館内に残されている私物（財金通帳等？）をひとつこさたい等と夜深更に申し出がなされている（文教官もしきりと図書のうち出しを狙っている）、教育の一学部教官、ある思想傾向に染った教育院生等々が身分証明書を意図的に拒否している。生学友は、私情に動かされることなく、眞正な態度をもってピケに臨もう！